見本（架空の会社・業者・金額）

見積もりの読み比べ：問い合わせ対応のAI（3社）

ひかり設備株式会社（架空）　総務部 御中　／　作成：AIよろず室

導入の目的	お客様からのメール・Webの問い合わせのうち、よくある質問（営業時間、点検の申し込み方、料金の目安など）にAIが先に答え、総務部2名の対応時間を減らす
今の状況	問い合わせは月に約300件。うち6割ほどが、よくある質問。担当2名で1日あわせて約2時間
決める方・期限	社長（総務部長が説明）。来年4月の繁忙期の前に使い始めたい
比べた資料	A社 見積書・サービス紹介資料／B社 提案書・見積書／C社 見積書（いずれも2026年10月付）

このまとめの立場：AIよろず室は、どの業者からも紹介料・手数料を受け取っていません。比べる基準は、資料を読む前に総務部長にお見せしたものです。**どこに決めるかは、御社がお決めください。**

1. 比較表

項目	A社：既製のAIチャット	B社：個別に開発	C社：ノーコードで構築代行
どんなもの	クラウドのサービスを契約し、自社のよくある質問を登録して使う	御社専用の仕組みを作る。顧客台帳とつなげられる	市販のノーコードツールで、C社が作って運用も代行する
初期費用	記載 55,000円	記載 1,320,000円	記載 330,000円
毎月の費用	記載 33,000円	記載 保守 55,000円	記載 運用代行 16,500円
見積もりにない費用	記載 「ほかの費用なし」と記載 要確認 月300件を超えたときの料金	要確認 サーバー代の記載なし（金額不明）	記載 見積書の注記に、ツールの利用料 月約13,200円を御社が直接契約、とある
3年間の合計 初期＋毎月×36か月（月300件・料金改定なしで計算）	概算 **約124万円**	概算 **約330万円** ＋サーバー代（不明・含まず）	概算 **約140万円** ツール利用料を含む
御社側の作業	記載 よくある質問の登録は御社で行う 推定 最初に約20時間、その後 月2時間ほど（質問の数から当社が見積もり）	記載 打ち合わせ4回と、使う前のテスト 要確認 テストにかかる時間	記載 登録はC社 推定 質問の洗い出しに約8時間
使い始め	契約から2週間	約3か月（4月に間に合うかは要確認）	約1か月
契約・解約	最低12か月。途中の解約は残りの月の料金がかかる	保守は1年ごとの更新	毎月の契約。1か月前に連絡で解約
データの持ち出し	質問と答えをCSVで書き出せる	作ったものの権利の記載なし（要確認）	ツールのアカウントの名義が不明（要確認）
保守の範囲	サービス側の不具合は対応	「軽微な修正」の範囲があいまい	月2回までの修正を含む
情報の扱い	入力した内容をAIの学習に使わない、と記載	御社のサーバーの中で動かせる	記載なし（要確認）
担当の体制	チャットとメールの窓口	専任の担当1名	担当者1名の会社（担当が不在のときが不明）

記載 見積書・資料に書かれていること　概算・推定 共通の条件を置いて当社が計算・見積もったもの　要確認 書かれておらず、業者に確かめること（金額が分からないものは0円として扱っていません）

緑＝御社の目的に合っている点、赤＝確かめたほうがよい点。金額は税込。

2. 各社の強みと気になる点

A社：既製のAIチャット

強み：3年間の概算がいちばん低く、2週間で始められる。データを書き出せるので、乗り換えもしやすい。
気になる点：よくある質問の登録は御社の作業。**最初の約20時間を、総務部の誰が、いつ行うか**を決めておく必要があります。最低12か月の契約です。

B社：個別に開発

強み：顧客台帳とつなげられるので、「点検の予定日」など**お客様ごとの答え**まで返せる。
気になる点：3年間の概算が約330万円（サーバー代を含まず）と、ほかの2社の2倍以上。使い始めまで約3か月で、4月に間に合うかぎりぎりです。作ったものの権利とサーバー代が書かれていません。

C社：ノーコードで構築代行

強み：登録と修正をC社が行うので、御社の作業がいちばん少ない。毎月の契約で、やめやすい。
気になる点：ツールの利用料（月約13,200円）が見積書の外にあり、それを含めると、3年間の概算はA社より約16万円高くなります。ツールのアカウントが誰の名義か、C社の担当者が不在のときにどうなるかが分かりません。

3. 判断の分かれ目

こんな場合は	合いそうな業者
よくある質問に答えられれば十分で、最初の登録の時間を社内でとれる	**A社**
よくある質問に答えられれば十分だが、社内で作業する人がいない	**C社**（アカウントの名義を御社にできる場合）
お客様ごとの答え（点検の予定日など）まで返したい。予算と時間に余裕がある	**B社**（権利とサーバー代を確かめたうえで）

問い合わせの6割がよくある質問なので、**まずはA社かC社で始め、お客様ごとの答えが必要になってからB社のような開発を考える**、という順番もとれます。どれを選ぶかは、社内の作業時間と予算でお決めください。

4. 決める前に、業者へ聞くこと

そのままメールに貼れる形で、別のファイル（Excel）にもお渡ししています。

A社へ

1. 最低12か月の途中で解約する場合、支払う金額はいくらになりますか。
2. よくある質問の最初の登録を、有料で代行していただくことはできますか。その場合の費用はいくらですか。
3. 月の問い合わせが300件を超えた場合、料金は変わりますか。

B社へ

1. 作った仕組みの権利（プログラムを直したり、別の会社に保守を頼んだりできるか）は、どちらに残りますか。
2. サーバー代は、月にいくらほどかかり、どちらが契約しますか。
3. 保守に含まれる「軽微な修正」の例と、含まれない修正の例を教えてください。
4. 来年4月1日から使い始めるには、いつまでに契約が必要ですか。

C社へ

1. ツールのアカウントを、御社（ひかり設備）の名義で作っていただけますか。
2. 担当の方がご不在のとき（病気など）、修正や不具合にはどなたが対応しますか。
3. 入力した問い合わせの内容を、ツールの会社がAIの学習に使わない設定になっていますか。
4. 解約したあと、作った質問と答えを書き出していただけますか。

3社に共通して

1. AIが間違った答えを返したとき、お客様にどう伝わり、社内でどう気づける仕組みですか。
2. 答えられない問い合わせは、どのように担当者へ回りますか。

5. このあとの進め方

1. 上の質問を各社に送る（今週中）。
2. 回答が届いたら、AIよろず室へ転送してください。**1回だけ**読み直して、比較表を直します（説明の日から30日以内）。
3. 社長への説明には、「1. 比較表」と「3. 判断の分かれ目」をお使いください。

このまとめは、各社の見積書・提案書に書かれた内容をもとにしています。契約書の法的な確認と、製品の精度・安全性・動作を試して確かめることは含みません。気になる条項は、契約の前に弁護士にご確認ください。
AIよろず室は、比べた業者のいずれからも紹介料・手数料を受け取っていません。
AIよろず室は、早稲田大学理工学部出身のメンバーや電通出身のメンバーが中心となって設立しました。 info@aiyoroz.jp
https://aiyoroz.jp